

信教人心動搖在何と物故、そかりませうか一日たゞ扶桑の作業者が来たであらせうか  
十五年のあつとに及ぶ全身命と賭し働きた天野社長が衆人の悪徳野の背後の隠謀  
はかり且つ不純な手段の方にもその善と踏み付けたし押して来た財的暴力に屈服  
したといひはる秘蔵の敵は着憑依する、善は何処でもありませうか、出来客製造を録と本と  
とくつたは出来果さるはしい技術者の熱誠こめた犠牲に依る新一やごとしし打れた  
け大なる微妙の言は出はるゝのいあ、それと考へはしい金代、口つて王様の西面堂のの  
様は悔ふ心をも界し使用人視さふのこはるん言ふ天はさ於果を犯来しよりかして天  
野社長に整頓、同時に飽迄踏止つこゝの爲、何とつたごといふ申込がな。

### ▲天野社長への悲憤の聲明

天野社長は秘蔵の法心を見棄て二月二十一日重信公府上悲憤の聲明を右の全重信  
に深甚の考慮をおめられたであつたよ、それよ悪徳上は役に一體たごせられたのみ  
たうが川上氏は固執しよ上重信のたう申込をたし来たのあうや、曰く天野社長は引退し  
川上氏は社長に就いて事、これに依る生る、社内の動搖は天野氏をたし去後に魚がや

と、何と云ふ申出のより申出であつませうか、

### ▲進退兩難の社長

一方悪徳上は其西策に於て辛辣を極めざる株以上の大株主を氣つかしに説得し  
銀行に重利を放つて全職の途を絶ち、ゆゑ新法を急買好し故とて、是も去せし様  
にしてのたう、新法に於て天野社長は全くは去る可からざるに陥り、一方秘蔵一千數百、  
名う執儀に譲めよと進退兩難の脚穿のまはら坊に陥らるるが、固く其言を固く其言を  
に犯されよと、向かに自害はこれ亦あらず、秘蔵の病床に横たはる、これ秘蔵一向は皆  
泣きまじり、泣いて天野社長に社長を御中あ下さいと頼み、これ自らの親を甘いて切腹させ  
様といひ子供をあつたよ、秘蔵一千數百の心腹に何か種つけられたいせうか、

### ▲早稲屋社又工手素くさつ

三月廿六日のさば令を存天野社長が録を整理出来し、一方分社に在り、一人仕事と  
する者はい、悪徳上は利を痛烈は決裁が完つたらば、言はは更なる殺戮し  
この秘蔵を救はんと、密謀に上つて禁んで、天野社長を引越りあふりや成り